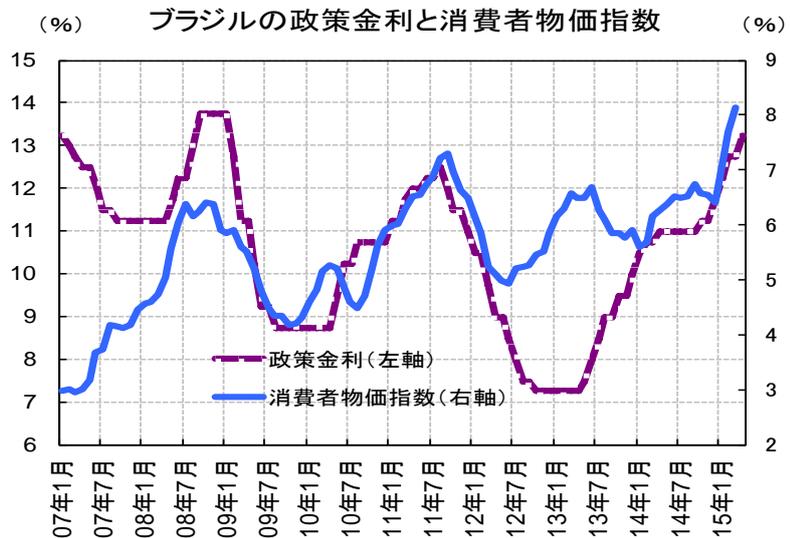


■ ■ 財政再建の進展を評価する向きも

歳入増歳出減のために、具体的な改革を早期実施

景気立て直しに向けて、ルセフ大統領は、昨年以降財政再建に取り組んでいる。そのなかで、財政再建の切り札として新しく財務相に起用されたのが、IMF や民間大手金融機関で勤務した経験を持つレビ氏だが、就任直後から様々な改革を進めている。まず、歳出面では、失業保険申請要件の厳格化や電力会社などへの補助金削減を実施。また、歳入面では、自動車に対する工業製品税の減税終了、燃料税や電力料金の引き上げ、金融取引税の増税などを決定した。これらの取り組みは、インフレを助長しているというマイナス面はあるものの、今後財政再建が進展してくれば、評価されてくる可能性がある。なお、4月30日に実施された金融政策委員会では、5会合連続の利上げを決定、政策金利は13.25%となった。ただ、国内景気の低迷を考えれば、利上げサイクルは最終局面とみてよいだろう。



また、このような痛みを伴う改革を評価する動きも出てきた。3月23日にはS & P社がブラジルの格付けをBBB マイナスで据え置くと発表した。ルセフ政権の財政再建への取り組みが評価されている。4月10日には、政府と連立与党各党のあいだで財政再建目標の達成に向けて協力していくことで合意に達した。最悪状況は脱しつつあるといえよう。

■ ■ ペトロプラス問題

ペトロプラス問題は峠越えか？

昨年来続いてきたペトロプラスをめぐる汚職問題は、4月22日に監査済み決算報告書の発表が行われた。結果、汚職関連費用として62億リアル(約

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

2530 億円)を計上、2014 年通期純損失は 216 億レアル(約 8800 億円)に達している。まだ完全に汚職問題がクリアになったとは言えないものの、ひとまず一歩前進したといえるだろう。

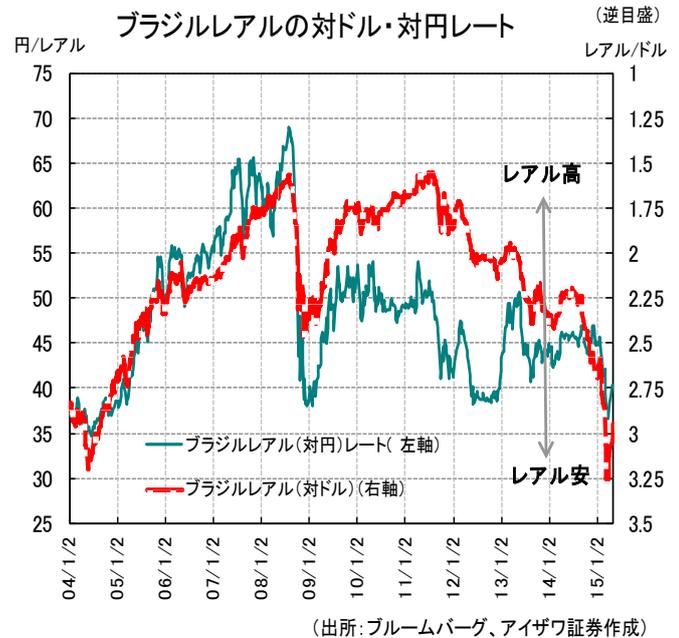
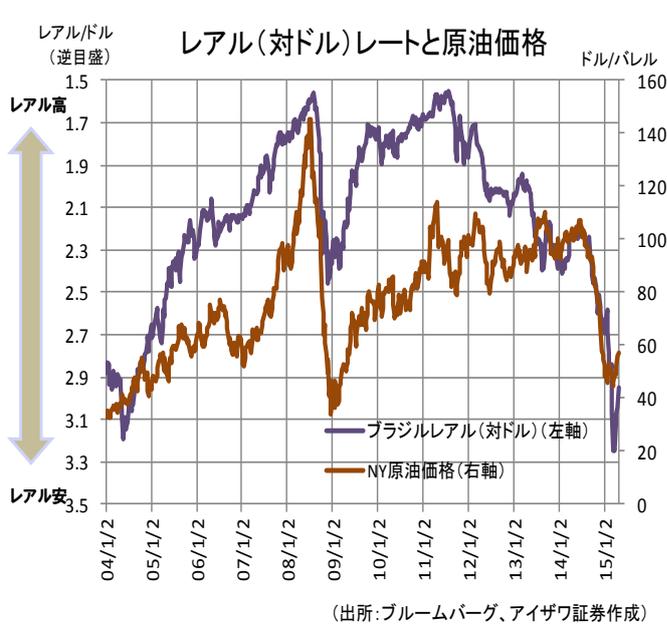
4 月 23 日には、ペトロブラス社のモンテイロ最高財務責任者(CFO)は、年内にドル建て社債を発行する可能性がある」と説明した。まだ決定したわけではないが、資金繰りに対する懸念が少し和らいでいる。5 月末には、新事業計画の発表が予定されており、業績回復に向かって少しずつ前進していきそうだ。

■ 今後のレアル相場見通し

レアルは、今後徐々に下値を切り上げる展開か？

レアルの対ドルレートは、3 月半ばに 12 年ぶりの最安値をつけたのち、ようやく落ち着きを取り戻し始めている。レアル落ち着きの背景として、①財政再建への取り組みが評価されてきたこと、②開示が遅れていたペトロブラスの監査済み報告書が公表されたこと、③原油や鉄鉱石などの価格が落ち着きを取り戻してきたこと、などが挙げられる。

まだ安心できる状況とは言えないものの、少しずつ状況改善がみられるなかで、今後レアルレートは徐々に下値を切り上げていくと思われる。当面は、財政再建の進捗度合や国内のインフレ動向に引き続き注意する必要があるものの、対円レアルレートは、急落直前のもみあいレンジである 1 レアル 45 円辺りが戻りメドのポイントとなりそうだ。



本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

主なリスクと留意点

【株式】

株式は株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。外国株式は為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。詳しくは契約締結前交付書面をご覧ください。

【投資信託】

国内外の株式等を投資対象としており、組み入れた株式等の値動きや、組み入れた海外の株式等における為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。詳しくは契約締結前交付書面(投資信託説明書[交付目論見書]、補完書面)をご覧ください。

【債券】

金利水準や為替の他、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動や、有価証券の発行者または元金金の支払いの保証者の業務または財産の状況の変化などによって損失が生じるおそれがあります。詳しくは契約締結前交付書面・目論見書をご覧ください。

お客様にご負担いただく手数料等について

【国内株式】

国内株式の売買等にあたっては、取引口座に応じて以下の委託手数料(税込)をいただきます。

対面口座： 約定代金に対し、最大 1.2420% (最大 147,150 円、2,700 円に満たない場合は 2,700 円)

インターネット口座「ブルートレード」： インターネット発注 最大 1,620 円/コールセンター発注 最大 3,240 円

コンサルティングネット口座「アイザワプラス」： インターネット発注 最大 4,860 円/コールセンター発注 最大 9,720 円

【外国株式】

(1) 委託取引の場合

外国証券の外国取引にあたっては、取引口座に応じて以下の委託手数料(税込)をいただきます。

対面口座： 売買代金に対し、最大 0.8640% (2,700 円に満たない場合は 2,700 円(買付けの場合のみ))

インターネット口座「ブルートレード」： インターネット発注 2,160 円/コールセンター発注 4,320 円

コンサルティングネット口座「アイザワプラス」： インターネット発注 6,480 円/コールセンター発注 12,960 円

(2) 国内店頭取引の場合

外国証券の国内店頭取引の場合は、所定の手数料相当額を含んだお客様の買付け及び売却の単価を当社が提示いたします。

※ 外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料及び公租公課その他の賦課金が発生します。外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額をあらかじめ記載することができません。

※ 外国証券の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

【投資信託】

投資信託の場合は商品ごとに設定されたお申込み手数料および信託報酬等をご負担いただきます。詳細は各商品の投資信託説明書をご覧ください。

【債券】

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は購入対価のみをお支払いいただきます。また、外貨建て債券の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

金融商品取引法に基づく表示事項

- 本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等
商号等： 藍澤證券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号
(本社) 東京都中央区日本橋 1-20-3
加入協会： 日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会
当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関
： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター (略称：FINMAC)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いたします。